（郵便物認可）　（本號十面）　明治二十四年三月八日　（定價二錢）

時事新報

時事新報は一ヶ年三百六十五日一日も休刊無し

第二千九百五十二號　日曜日
明治廿四年三月八日
德曆辛卯正月廿八日（癸巳）

月出午前六時廿四分　入午後五時廿一分
日出午前四時卅一分　入午後五時十一分
滿潮午前十時廿八分　午後三時二十九分

（西曆一千八百九十一年）

時事新報定價
時事新報は一年三百六十五日一日も休刊せず其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報は日々直接に郵便にて遠送するものに限り右定價の外に一箇月十五錢の郵送料を申受く
時事新報廣告料前金

一行五號活字七四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行　二付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

帝國議會の閉會

議會開設以來議場の大問題ある豫算案も衆議院にて種々の波瀾の末、漸く政府との折合を得て之を貴族院に廻附し同院にては時日の切迫にも拘らず速に之れを議定し玆に豫算案の成立を告ぐ初期の議會も無事に閉會を見るに至りしは先づ以て目出たき次第ありと云はざるを得ず本年の議場は何を云ふにも初期の事にして其完全を望むは固より無理の注文なれども我輩を以て議會の有樣を見るに何分にも感服せざるもの多き中にも國の商安に關する一事に至りては特に注意の拂きを惜まざるを得ず今の文明の立國は商賣に在るなと今更いふ迄もなきも虛なれども其商賣の繁昌不繁昌は一に商安の如何に存するなとあるに議事の經過を見れば政治論の喧しきに似ず國の商安に對し如何にも不親切の觀あるは社會衆目の認むる所にして議會の欠典と云はざるを得ず蓋し今の議會は年來民間に在りて單に政治の事にのみ熱心の政論家その多數を占め實際の局に當りて事の經驗に富める所謂政治家と稱す可きものは勘合に乏しきが故に其所論も兎角政治の一方にのみ偏し全體の利害に注意の到らざる所あるも決して怪しむに足らず即ち其地位氣風の自から然らしむる所にして一人一個の罪に非ざればなり左れば我輩は今日の有樣を以て直に罪を人に歸し之を咎むるものに非ざれども既に立法議政の任に當りて其責任を負ふ以上は將來に希望する所は益々大あらざるを得ず思ふに本年の議會は開設早々にして昨年の撰擧騷ぎに熱走狂奔したる其政熱も未だ全く收まらず殊に政黨政派の競爭の爲めに一種の餘波を議事に及ぼしたる觀あるに非ざれば更に政治論の喧しきを致したるも事の行掛りとして致方なきも次第なれども其人々も議場閉會の後、或は平生の業務に復し或は鄉里に歸りて徐ろに議會に對する社會人心の如何を察し靜坐瞑目議事の經過を反省したらば之に滿足して鄉々の輿論を催ほす可きや將た又愧然として大に省み更に將來の長計に思ひ到る可きや我輩は其中心に自から恬る所ある可きを信ずるあり左れば當期の議會は匆忙の間に事を議し匆忙の間に終を告げて實際に見る可き事の甚だ少なしと雖も若しも其人々が之を一場の試驗とし自から成跡に鑑みて其欠典に注意し更に將來の報效を期して怠らざるときは次第に社會人心の歸向を得て遂に衆望の府たるなと疑ふ可きに非ず我輩は今日議會の閉場に際し先づ以て無事の終局を喜び更に將來の希望を陳して其反省を祈るものあり

雜報

○非上伯の近狀　非上伯は遲くも本月中旬頃に歸京するやの噂ありしが此程同伯より或る人の許に到達したる私信に依れば本月中旬には是非とも歸京せんと思ひしも都下は未だ政海の波も收らざるゆゑ此際迂濶に頭を出したらんには又々世上の批評を免かれざるべく三猿の身に取りては甚だ五月蠅けれども今暫くは歸京を見合はすことに決したり云々とありしよし

○前嶋次官の辭職に就て　前嶋遞信次官が辭職の事に關しては此程よりの紙上にも記載せしが尙ほ聞くに同次官が斯く辭職を思立ちしものゝ兎角と其意見を探逃するは何か遞信大臣に對して左も苦情がましく聞えて穩かならざる嫌ひあれども左りとて微志も無き身が古來の習慣の如く病氣に付辭職したしと申出づるは提出する筈ありと申居ら汰ふそ最も希望する所なれとて已に去月廿四日に廟田秘書官へ向け其趣を申送りたるに同秘書官は即日馬車を馳せて次官の邸を訪ひ御書面の趣誠に意外の事にて大臣にも大に驚かれ若し省務の上に意見あらば腹藏無く陳述ありたく書面にては到底其意を盡さゞるの恐れあれば委細承る樣にと命せられて斯くは參上せしが若し餘人にて差支へあらば大臣自ら訪問すべしと言はれたりと述べたるに次官は退官の趣旨は今更申上げずとも大臣にも已に大抵承知せらるゝなるべく此上は輪旨免官の沙汰をさへ聞屆けられあれば小生も本懷の至りなりと答へしかば秘書官も斯くまで決心されし上は最早詮無き事ながら大臣も此辭職は素より一存にて決し得べき事あらねば內閣の評議に提出する筈ありと申居られしと述べて立ち別れんとするに臨み次官は尙ほ一言申置くは立つ鳥は跡を濁さずとぞ承る下官假令へ辭職したれはとて是迄取扱ひたる省務に對し妄りに惡聲を發するが如き不德の事は致さゞれば大臣に於ても其邊は能く承知し置かれたく何れ自身に參上して厚志を謝すべけれど貴下よりも宜しく深謝し給はるべしと述べて相別れたりとあり

○圖書會案內狀　明九日內閣員一同より貴衆兩議院長議員書記官長書記官一同を赤坂離宮に招請して圖書會を催すとのみとは前號にも記したるが其案內狀の寫し左の如し

來る九日赤坂離宮を拜借致し閣員一同より議員諸君を招請し圖書會相催候に付同日午後三時同宮（御貴賓館前下度此　及御案內候款具

年　月　日　伯爵山縣有朋

別紙

參坂離宮參入は樣て宮內省內規も有之候に付御心得迄に左の通申進候

一當日赤坂離宮は通用門より出入の事

一當日限り御門鑑札所持を要せざるに依り左服に議員の徽章を帶びられ度事

一御車寄より昇降の事

一御車寄に於て名刺を拜出され度事

一衣服はフロックコート又は羽織袴にて帽を被用度事

一外套引廻袖羽織杖樣等は御車寄參入の節場爐女は人力車中に被帶度事

○臨機の處分に敏なり　衆議院の議事は中頃より議論頗る紛擾に渉り一時は其結果如何に就て窃に心配したる人もありし程なるが又斯る紛爭の間にも尙ほ綽々として餘裕ある者は此議會の特色として見るべきものあるが如し今其一二例を擧れば第一夫のコッポ氏肺病治療法研究の爲め特に醫業者を獨逸に派遣するの費用を議決し又今回米國シカゴ府に於ける萬國博覽會に關する豫算追加案を議定したるが如き一國の利益上止むべからざるものに至りては多少とも其支出を吝ず却て議會自から奮て之を爲さんとし且つ右等緊急の問題に就ては各黨派の人々も之を贊成し忽ち穩かなる經過を遂ぐるが如きは啻に議會の美德たるのみならず又議會が臨機の處分に於て甚だ敏なる者なりと云へり

○地價修正同盟の規約成る　去る四日の衆議院議場に於て天春文衛氏提出の特別地價修正法案は十八名の少數にて排擯されしも此失敗たる其前日迄は立派に修正說を同意し歡きながら突然欠席せし議員少なからざりしに起因せし者あれば修正派の議員は是非とも前日の敗を盛り返さんとて一昨日今井磯一郎氏より緊急動議を起せしも是亦僅々四票の少數にて議會には容れられざりしが議院外に在て運動する修正派の人々は議會の決議如何には更に頓着せず益々同盟府縣の團結を鞏固にすべしとて既に地價修正期成同盟會の規約をも編成したる由にて即ち左の如し

地價修正請願同盟規約

第一條　各府縣政官の方法に由り地價修正請願者の組合を設置すべし

第二條　府縣の組合を連絡して之を地價修正請願同盟會と稱し假に大坂に其事務所を置く

第三條　府縣組合には世話役若干名を置き交通の事務を執らしむ

第四條　同盟事務所に屬する雜費は同盟府縣の分擔とす

第五條　本年五月十五日大坂に於て同盟府縣の大會を開く

右規約中にも見ゆる通り假令へ同盟に加はるも全く各地方同志者の意見に任せ互に充分の調査を遂げ其調べ得たる結果を土產に來る五月十五日大坂へ會合し此會合の席にて一の修正法案を作り大に地方の民心に訴へ根强く魂强く修正論を主張し事成らざれば已まざるの決心ある由なれど既に規約も脫稿したれば目下滯京中なる委員は夫々歸縣の途に就くべく從て京橋區山城町なる地價修正請願同盟事務所も不日引き拂ふべしといふ

○中江篤介氏の補欠撰擧會　大坂府第四撰擧區（東成西成兩郡）より當撰せし衆議院議員中江篤介氏は既に辭職を願屆けられたるを以て同區にては來る十六日補欠撰擧會を開く事に決したり偖て其候補者として顯れたるは大坂組合代言人北村佐吉（目下政黨に關係あり）元天王寺村戶長篠川利助の兩氏なるか北村氏は別に新聞紙を機關となすやうの事もなく言はゞ獨立獨步の運動を試みつゝあるも篠川氏は大坂の或る新聞社に豚結を通し巧者に立ち廻れり大坂朝日新聞の社主村山龍年氏も此前の撰擧に竊に運動せし由緣もあれは今度の補欠撰擧にも意のおきにもあらざるべしと噂すれど先づ現今の景況にては北村篠川兩氏の競爭にして勝敗何れに決すべきやは豫想の及ぶ限りにあらずと大坂よりの通信

○山梨政社の宴會　同政社にては在京の重立ちたる政治家及同縣人幷に新聞記者等と勵運上の連結を通じ兼て懇親を結び置かんとて同社員淺尾長慶近藤永貞等の諸氏發起とあり去る五日午後五時より上野櫻雲臺に於て宴會を催し改進黨の青木[illegible]に同縣の若尾[illegible]四十餘名あり[illegible]の演說等あり[illegible]過きに至り一[illegible]

○外國博覽會出品協會　博覽會出品協會は出品協會なる[illegible]法幷に共取[illegible]は出品協會なる[illegible]謀りし處早速[illegible]織に關する萬[illegible]りし云々とて[illegible]戰せしが元來[illegible]外國博覽會に[illegible]來の販路等を[illegible]を講じて宛然[illegible]北米シカゴ府[illegible]唯その一機會[illegible]て大坂の有志[illegible]々有る可らざ[illegible]りと云へり猶[illegible]六日地擧協會[illegible]たるに結局是[illegible]府縣の同志を[illegible]するみとゝ決[illegible]星丘氏等も當[illegible]して歸坂した[illegible]對するの支度[illegible]に限るみとゝ[illegible]意は一切の外[illegible]より〳〵計畫中[illegible]

○貿易協會より[illegible]會一件は東京[illegible]たれども地方[illegible]發起と云はゞ[illegible]やも知る可ら[illegible]れば貿易協會[illegible]成者とありて[illegible]との說もあり[illegible]校邊にても之[illegible]るあらんと云[illegible]

○車中遺失品[illegible]社の車中に於[illegible]品に準據し品[illegible]め來りし處[illegible]中の遺失品に[illegible]失物と同じく[illegible]るよし

○名古屋の相[illegible]ける途次名古[illegible]は二回の例あ[illegible]顧れの珍ら[illegible]めたる者の[illegible]大戶平立嵐の[illegible]面目を改めた[illegible]本無雙なるの力[illegible]るや西ノ海の[illegible]